平成27年度 指定管理者業務実績シート

作成年月日 平成28年6月13日

部	教育委員会生涯学習部	課	文化財課

施設名•所在地	箱館奉行所 函館市五稜郭町44番3号					
設置条例	箱館奉行所条例 箱館奉行	則				
指定管理者名	名美興業株式会社	31日ま [・]	C			
指定管理者の特別 な要件			選定 区分	<u>公</u> 募 非公募		
設置目的	復元した箱館奉行所庁舎を活用して、特別史跡五稜郭跡の歴史を広く市民等に伝えるに、その利用に供し、もって本市の文化の向上と教育の発展に資する。					ことも
設置年月	平成22年7月		建設費	1,748,250千円		
構造規模等	箱館奉行所 木造平屋建 延べ面積 979.40㎡ (付属建物 土蔵,板庫,板蔵)					
開館時間休館日等	開館時間 4月1日から10月31日まで 午前9時から午後6時まで 11月1日から3月31日まで 午前9時から午後5時まで 休館日 12月31日から1月3日まで					
料金体系	□ 利用料金制の採用の有無 有 -般 個人:500円 20人以上の団体:1人につき400円 学生・生徒・児童 個人:250円 20人以上の団体:1人につき200円					

1 指定管理者が行う業務の内容および実施状況

(1) 管理業務

- ア 入館者に関すること(受付,制限,安全確保,意見等の把握・対応)
- イ 維持管理に関すること(清掃, 警備, 設備保守点検, 塵芥処理, 除雪, 修繕)
- ウ 利用促進に関すること(入館者増に向けた事業,各種講座)
- エ その他教育委員会が定める業務(兵糧庫の公開,消防計画の策定,入館状況把握・報告,苦情対応等)

(2) 委託事業

- ア 箱館奉行所講座の開催(「五稜郭・箱館奉行所をめぐる」「箱館奉行所アカデミー」「箱館奉行所でコーヒー体験」)
- イ 箱館奉行所開館記念事業(玄関前広場で太鼓演奏,折り紙講座,オリジナルグッズプレゼント等)
- ウ 募集式事業の開催(「奉行に変身・記念撮影」、「クイズで巡る五稜郭と箱館奉行所」、兵糧庫特別公開)
- エ 公開式事業の開催(筝の演奏,大妻高校茶道部によるお茶席,華道部による生け花鑑賞,プロジェクションマッピング)

(3) 自主事業

ア 板庫(休憩所)内売店の運営

- 2 市民サービス向上のためのその他の取り組み実績
- ア 広報誌「ステップ・アップ」,ホームページによる広報活動
- イ 常駐の清掃員・警備要員を配置し、施設の安全性を確保
- ウ 正月三が日の臨時開館
- エ 箱館奉行所看板の設置
- 3 市民ニーズの把握の実施状況
- ア アンケートボックスの設置(通年)
- イ 窓口対応(通年)

4 施設の利用状況

・平成27年度の月別入館者数

(単位:人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
利用件数	9,540	18,069	14,190	15,749	23,653	23,775	12,945	7,290	4,541	3,224	3,835	7,259	144,070

• 年度別利用件数

← 前期指定期間 → ←当期指定期間→

(単位:人,円)

年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
利用件数	229,489	237,126	188,729	165,639	149,368	144,070
使用料収入	96,532,050	99,473,100	79,416,900	69,228,550	62,448,400	

※平成27年度から利用料金制

5 指定管理者の収支状況

			←	前期指定期間	\rightarrow		←当期指定期間→
							(単位:円)
	区分	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度
収入	委託料	44,101,738	61,979,520	61,979,520	61,979,520	63,750,364	
	利用料金						59,963,250
	受取利息	1,387	1,504	1,492	1,354	1,504	2,044
	事業収入	70,500	34,800	0	0	0	0
	雑入	3,075	0	0	0	0	11,039
	計	44,176,700	62,015,824	61,981,012	61,980,874	63,751,868	59,976,333
支出	人件費	25,883,554	34,082,984	29,459,293	29,847,895	31,103,002	26,892,596
	消耗品費	1,314,117	751,491	997,844	1,423,439	1,767,879	799,851
	印刷製本費	2,415,988	1,881,306	1,623,323	1,122,304	867,121	1,338,166
	修繕費	12,898	194,347	212,785	1,012,216	739,076	474,788
	水道光熱費	3,602,393	5,483,940	5,121,724	5,360,671	5,813,618	6,338,105
	通信費	260,320	407,208	371,024	365,195	370,869	376,563
	業務委託費	14,198,723	15,264,185	16,238,842	16,532,984	16,353,678	16,149,837
	リース料	897,561	1,196,748	1,196,748	1,196,748	1,447,488	768,219
	租税公課	894,600	1,691,700	1,614,300	1,517,700	2,540,300	1,769,300
	事業費	164,502	605,514	537,945	646,892	621,906	828,357
	固定納付金						8,251,000
	その他の支出	361,291	53,937	105,614	1,489,563	106,155	446,173
	計	50,005,947	61,613,360	57,479,442	60,515,607	61,731,092	64,432,955
	設の利用者一人 税金投入コスト	使用料>委託料 のため試算不能	使用料>委託料 のため試算不能	使用料>委託料 のため試算不能	使用料>委託料 のため試算不能	8.7	_

- 6 モニタリングの実施状況および指定管理者に対する改善指示等の実施状況
- ア 管理業務実績報告書,事業報告書・財務諸表を年次提出
- イ 実地調査(随時)

7 指定管理者に対する評価

① 指定管理者の自己評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行	■A	・業務の見直しと改善により、奉行所の適切な管理運営に努めた。	・箱館奉行所開館後6年目を迎え、館内スタッフの接遇や案内業務の熟練度が高まり、お客様方のニーズに適切な対応 が出来る共和に表示されている。
状況	□В		が出来る体制となってきている。入館料の徴収および収納 管理等の業務、奉行所の維持・管理のための業務について も適切に対応ができたものと考えられる。今後の課題とし
	□С		ては、入館者増に向け、より多くのPRを行うとともに、他 方面と密な連携を行い、入館されるお客様方の利便性を高
			め、気軽に観覧・体験できる奉行所に転換して行きたい。
サービスの	■A	・お客様の要望等の反映、より一層の サービス向上のため、館内案内の内容等	・箱館奉行所へ入館される方々に、五稜郭・ 箱館奉行所の的確な情報を提供することはも
質の状況	□В	の改善に努めた。	とより、お客様方からの要望等を真摯に受け 止め、適切に対応できるような体制づくりを
	□С		目指してまいりたい。
団体の経営	ΠА		・開館6年目を迎え、前年度よりもさらに入館者が減少する傾向が続いた。箱館奉行所に関するフライヤー作成などPR・周知等に対した。
状況	■В		知等に努めたが、さらに幅広い周知活動が必要と思われる。また、外国人観光客の増加に向けての外国語表記等の改善に向けての取組みの強化も大きな課題である。これらの諸課題に鋭意
	□С		に取組み、改善する方向に努力したい。

② 市の指定管理者に対する実績評価

区分	評価	評価の内容	課題と今後の対応
業務の履行	ПΑ	・管理基準どおりに適切な管理運営および事業が行われている。	・業務の履行状況については、協定書や管理基準を 遵守し、適切な管理運営が行われている。平成27
状況	■B	0 = 20 13 15 10 00 00 00	年度から利用料金制度となり、指定管理者が自主的 な経営努力が求めれることとなるが、入館者の減少
	□С		傾向が続いていることから、今後も利用者のニーズ の把握や入館者増対策について創意工夫を行い、今
			後も適切な管理運営に努めていただきたい。
サービスの	■A	・従業員の接遇状況も適切に行われており、また、入館者からの要望に対しても	
質の状況	□В	積極的に改善を行い真摯に取り組んでいる。	接遇やサービスの質が低下しないよう、継続的に研修等を実施し、資質向上に繋がる取り
	□С		組みを行うよう努めていただきたい。
	□D		
団体の経営	ПΑ	・事業収支は支出が収入を上回っている が、団体の経営状況については、安全性	・財務指標では健全な経営団体であるが、事業収入 は、利用料金収入により影響を受けることから、今
状況	■В	および収益性いずれも高水準で健全な経営が行われている。	後も安定した事業運営に努めていただきたい。
	□С		

- A 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準以上がなされている。 (事業収支、経営状況に問題はない)
- B 協定書を遵守し、事業計画書及び仕様書の水準どおり行われている。 (事業収支、経営状況の今後に注意を要する)
- C 協定書の遵守しているが、事業計画書及び仕様書の水準をやや満たしておらず、課題がある。 (事業収支、経営状況に早急な改善を要する)
- D 協定書や事業計画書に不履行がある。または、業務水準を満たしていない。